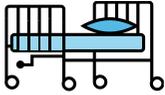


【目標】①心身ともに安定した状態で検査を受けることができる②指示された安静を守り検査後の合併症を防止する

月日	月 日	月 日	
経過	当日(検査前)	当日(検査後)	
食事	10時以降は禁食(水分は可)	問題なければ帰宅後より飲食可能です	
処置 観察	午前中に体温・血圧・脈拍を測定します	検査後、体温・血圧・脈拍を測定します 針を刺したところの状態を確認します	
内服	・内服薬を確認します □中止薬があります []	・夕～通常通り内服して下さい	
行動	<p>【午前】入院。他に検査がある場合はご案内します。 点滴を開始します</p> <p>【午後】</p> <p style="text-align: center;">穿刺部位</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>《足》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査衣に着替えます ・入れ歯、金属類、コンタクトレンズを外してください ・尿道留置カテーテルを挿入します ・ストレッチャーで検査室へ向かいます </div> <div style="text-align: center;"> <p>《腕》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすで検査室へ向かいます </div> </div>   <p>検査は1～2時間程度で終了します ご家族の方は病室でお待ちください</p>	<p>出血防止のために針を刺したところを曲げないようにして下さい。</p> <p>《足》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針を刺したところにガーゼを当て、テープとベルトで圧迫・固定します ・6時間後の医師の診察までは臥床安静です ・許可があるまで寝返り、体を起こすこと、針を刺したほうの足の膝を曲げることをしないでください(足首・かかとの屈伸はできます) ・6時間後に医師が止血の確認しベルトを外します。その後尿道留置カテーテルを抜去し、トイレ歩行まで可能となります ・トイレ歩行が問題なければ特に安静の制限はありませんが、本日は病棟内で過ごして下さい <p>《腕》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針を刺したところをテープで圧迫・固定し、腕にシーネ(板)を当てます ・特に安静制限はありませんが、本日は病棟内でお過ごしください ・検査後3時間後にシーネを外します ・検査をした腕は曲げず、伸ばして過ごして下さい ・6時間後に医師が止血の確認し圧迫を外します。 <p>* 検査前に始めた点滴は夜間には抜去します * 頭痛や吐き気、穿刺部の痛み、しびれなどがあればお知らせください * 検査後、体拭きをします</p>	<p>退院日</p> <p>制限はありません</p> <p>体温・血圧・脈拍を測定します 朝、針を刺したところを確認します</p> <p>□内服薬の変更があります []</p> <p>明日から入浴可能、絆創膏を外しお入りください</p> <p>穿刺部が内出血することがあります 周囲の腫れ、しびれ、痛みがあればお知らせください</p> <p>□退院前にMRIがあります □次回再診日 年 月 日 時 脳神経外科外来</p> <p>□次回入院日 年 月 日 時</p> <p>退院前に入院センターに寄って下さい</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>お大事にしてください</p> </div>
説明	医師の診察があります 看護師より入院生活、検査についての説明があります	医師より説明があります ・検査結果と治療計画について ・次回受診予約	